

# 洛友会会報

京都大学工学部  
電気系教室内  
洛友会  
京都市左京区吉田本町

## 四国支部総会に出席して

(瀬戸大橋見聞記)

副会長 大谷泰之

本会報が会員の皆様に届けられる頃は、梅雨前線も本州に北上して、例年よりも早く梅雨明けを迎えていることと思われる。

さて毎年のことではあるが、梅雨前線の北上と相前後して、洛友会の支部総会季節を迎え、今年は5月20日の四国支部からスタートし、中国、九州、関西及び本部、中部支部と続き、6月25日の東京支部で今年の総会シーズンを終ることになっている(東北支部は未定)。

本会会長の松田先生は比較的年元気ではあるものの何分にも94歳というご高齢であり、旅行や会合出席も差控えておられることが多く、常任幹事の近藤先生も多忙で都合が付き難いことが多いため、本部からは主として筆者だけが各支部総会に教室の先生と共に出席することになっている。なお中国

支部総会は折悪く電気学会総会日と重なったので止むを得ず欠席したことを申し添えておく。

先づ5月20日の四国支部総会は別稿の同支部報告の通り、高松で開かれ教室の岡田隆夫教授と共に出席した。当日は出席率が30数%で、昭8年卒の阿部さんや10年の藤本さん等の先輩も元気な姿を見せられ、昭60年卒の若い人まで合計35名の会員が新居浜や徳島方面からも出席されるという盛会であった、これは昭15年の中川支部長はじめ支部役員の方々のご努力の賜物と敬服した次第であった。

翌21日は天候も回復し海上の見通しは若干良くなかったが、去る4月10日開通した世界一の超長大橋である瀬戸大橋を、中川支部長や四国電力の幹事4名の方々のご案内で、筆者は始めて、色々な方向と距離から詳しく視察すること

ができた。

先づJRの観光船讃岐丸(以前の連絡船を改造したもの)で高松を出航、鏡のような瀬戸内海上を岡山側の下津井大橋方向へ北上し、船上の特別室や広い最上甲板から、次第に近づいてくる超巨大橋の下を通過する際に海面上50~90mの橋桁を見上げた場合、肉眼の視野内にかぶさるように入ってくる巨大構造物の壮観に圧倒される許りであった、船は瀬戸の海が多島美と調和のとれた大橋の、幾つかの架橋に沿って西側を南下し、四国坂出側の最長の南備讃瀬戸大橋の下を通過、坂出市の番の州地区で開かれている四国博近くで下船した。時間の関係で四国博では電力館やテーマ館その他を急ぎ足で見学した。

最近、博覧会や色々なイベント会場で多種多様な未来的映像システムを見かけることが多いが、特に瀬戸大橋の映像で筆者が強く印象を受けたのは、先づ「電力館内」で円筒形巨大スクリーン上、天井の一台の特殊映写機から投射される360連続のつぎ目のない全円周形画面を、中心席から見た場合のダイナミックな映像であった。更に別の記念館内で巨大な半球形スクリーン内面に映し出された大橋の映像で、それも瀬戸大橋上空を接近して飛び廻るヘリコプター機

上からの映像等であった。

筆者は前日の高松への往路にJR車輦内から橋桁のトンネルの中を約10分間で通り抜けた時の大橋の印象と異なっており、この日の海上から近づき見上げるときの雄大且つ静的な景観、次に四国博内の新しい映像システムで見た動的な巨大橋像等は印象的であった。

次いで四国博を観察後中川支部や今岡幹事とお別れして、藤原幹事の案内で、車で橋上の自動車道を走って岡山駅まで見送って頂いた。架橋の主塔の高さは最高200m

## 教官の移動

前号のお知らせ以降つぎのような移動がありました。

安藤昭生 昭和63年4月1日、電気工学教室(卯本研)助手を退職、福山大学工学部助教授に転出(昭和42年修士課程電気工学第二専攻修了)

冬木 隆 昭和63年6月1日、電気工学第二教室(松波研)助手より講師に

昇任(昭和49年電子工学科卒業)

深尾昌一郎 昭和63年4月1日、超高層電波研究センター教授に昇任(昭和42年電子工学科卒業)

山本 衛 昭和63年4月1日、超高層電波研究センター助手に採用(昭和63年博士後期課程電子工学専攻修了、60年電子工学修士修了、58年電子工学科卒業)

山本 衛 昭和63年4月1日、超高層電波研究センター助手に採用(昭和63年博士後期課程電子工学専攻修了、60年電子工学修士修了、58年電子工学科卒業)

かねがね、トカマク型の核融合装置より、すぐれた特性をもつ日本独自の核融合研究装置として、

海面上の高さ50~90mで比較的交通量の少ない四車線の自動車道では、高速性が余り感じられない位であった。なお橋の頂度中程にある与島インターで一度休憩した際、島上の施設から見渡す景観も更めて大橋の雄大さを感じさせてくれた。

終りに今度の四国支部総会に際し、二日間に亘って特に瀬戸大橋見学旅行に際し、格別のお世話を頂いた四国支部の役員の皆様にも厚くお礼申し上げる次第である。

昇任(昭和49年電子工学科卒業)

深尾昌一郎 昭和63年4月1日、超高層電波研究センター教授に昇任(昭和42年電子工学科卒業)

山本 衛 昭和63年4月1日、超高層電波研究センター助手に採用(昭和63年博士後期課程電子工学専攻修了、60年電子工学修士修了、58年電子工学科卒業)

山本 衛 昭和63年4月1日、超高層電波研究センター助手に採用(昭和63年博士後期課程電子工学専攻修了、60年電子工学修士修了、58年電子工学科卒業)

山本 衛 昭和63年4月1日、超高層電波研究センター助手に採用(昭和63年博士後期課程電子工学専攻修了、60年電子工学修士修了、58年電子工学科卒業)

山本 衛 昭和63年4月1日、超高層電波研究センター助手に採用(昭和63年博士後期課程電子工学専攻修了、60年電子工学修士修了、58年電子工学科卒業)

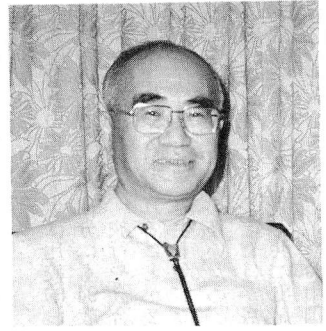
山本 衛 昭和63年4月1日、超高層電波研究センター助手に採用(昭和63年博士後期課程電子工学専攻修了、60年電子工学修士修了、58年電子工学科卒業)

山本 衛 昭和63年4月1日、超高層電波研究センター助手に採用(昭和63年博士後期課程電子工学専攻修了、60年電子工学修士修了、58年電子工学科卒業)

## ヘリオトロンの創始者宇尾光治先生 アメリカ政府機関よりも惜しまれつつ、 京大を退官す

有名なヘリオトロンの創始者、宇尾光治教授は昭和63年3月31日をもって、停年退官された。この宇

尾教授のヘリカル型ヘリオトロンの最新装置として、文部省が土岐に新大型ヘリカル装置を日本の大学を代表する研究装置として現在、設計建設中である。この装置は宇尾教授が昭和33年初期研究装置として、創案されたヘリオトロンA、それに基づいて、次々と改良を重ねられて、現在、京大宇治構内のヘリオトロン核融合研究センター内に設置された中型研究装置のヘリオトロンEの延長線上にあるもので、研究の成果については、日本国内だけでなく、広くアメリカや西ドイツなどのEC諸国においても、高く評価されてきたものである。今回、宇尾教授の停年退官に際し、先生の功績を顕彰する目的をもって、アメリカ政府の核融合関連機関二ヶ所より連名で写真のような楯が送られた。之はDOEのMr. J. WILKINSとORNLのJ. SHEFFIE



昭和62年度収支決算  
昭和62年4月1日から昭和63年3月31日まで

昭和63年度収支予算  
昭和63年4月1日から昭和64年3月31日まで

収入の部 (単位: 円)

| 科 目       | 決 算 額      | 予 算 額      | 備 考                   |
|-----------|------------|------------|-----------------------|
| 会 費(学 部)  | 7,705,400  | 7,400,000  | 資料 3-1参照<br>名簿の会員外販売等 |
| 〃 (講習所)   | 469,200    | 400,000    |                       |
| 預 金 利 子   | 324,579    | 300,000    |                       |
| 預 告 掲 載 料 | 3,263,000  | 2,700,000  |                       |
| 雑 収 入     | 8,000      | 10,000     |                       |
| 収 入 小 計   | 11,770,179 | 10,810,000 |                       |
| 前年度繰越金    | 8,561,674  | 8,561,674  |                       |
| 合 計       | 20,331,853 | 19,371,674 |                       |

収入の部 (単位: 円)

| 科 目       | 予 算 額      | 62年度決算額    | 備 考 |
|-----------|------------|------------|-----|
| 会 費(学 部)  | 7,600,000  | 7,705,400  |     |
| 〃 (講習所)   | 350,000    | 469,200    |     |
| 預 金 利 子   | 300,000    | 324,579    |     |
| 預 告 掲 載 料 | 100,000    | 3,263,000  |     |
| 雑 収 入     | 10,000     | 8,000      |     |
| 収 入 小 計   | 8,360,000  | 11,770,179 |     |
| 前年度繰越金    | 9,582,047  | 8,561,674  |     |
| 合 計       | 17,942,047 | 20,331,853 |     |

支出の部 (単位: 円)

| 科 目           | 決 算 額      | 予 算 額      | 備 考             |
|---------------|------------|------------|-----------------|
| 名 簿 編 集 費     | 10,000     | 15,000     | アルバイト費          |
| 〃 電算機処理費      | 240,089    | 220,000    |                 |
| 〃 印 刷 費       | 3,830,000  | 3,800,000  | 4,300冊          |
| 〃 発 送 費       | 1,239,360  | 1,300,000  |                 |
| 会 報 編 集 費     | 10,000     | 15,000     | アルバイト費          |
| 〃 印 刷 費       | 588,600    | 600,000    | 毎号5,100部印刷年4回発行 |
| 〃 発 送 費       | 1,427,617  | 1,550,000  |                 |
| 備 品 信 費       | 87,360     | 100,000    |                 |
| 通 員 原 簿 管 理 費 | 785,410    | 700,000    | 計算機使用料等         |
| 会 員 合 合 費     | 387,540    | 300,000    | 常任役員会           |
| 会 総 会 費       | 327,000    | 320,000    |                 |
| 集 金 費         | 160,220    | 170,000    | 振替払込手数料         |
| 消 耗 費         | 407,880    | 400,000    |                 |
| 旅 費           | 257,200    | 310,000    | 支部総会出席交通費等      |
| 懇 話 会 補 助 費   | 250,000    | 250,000    |                 |
| 支 部 交 付 金     | 0          | 0          |                 |
| 事 務 人 件 費     | 720,000    | 720,000    | 応研謝礼            |
| 雑 費           | 21,530     | 20,000     |                 |
| 予 備 費         | 0          | 100,000    |                 |
| 支 出 小 計       | 10,749,806 | 10,810,000 |                 |
| 次年度繰越金        | 9,582,047  | 8,561,674  |                 |
| 合 計           | 20,331,853 | 19,371,674 |                 |

支出の部 (単位: 円)

| 科 目           | 予 算 額      | 62年度決算額    | 備 考      |
|---------------|------------|------------|----------|
| 名 簿 編 集 費     | 0          | 10,000     |          |
| 〃 電算機処理費      | 0          | 240,089    |          |
| 〃 印 刷 費       | 0          | 3,830,000  |          |
| 〃 発 送 費       | 0          | 1,239,360  |          |
| 会 報 編 集 費     | 10,000     | 10,000     |          |
| 〃 印 刷 費       | 650,000    | 588,000    |          |
| 〃 発 送 費       | 1,500,000  | 1,427,617  |          |
| 備 品 信 費       | 0          | 0          |          |
| 通 員 原 簿 管 理 費 | 100,000    | 87,360     |          |
| 会 員 合 合 費     | 800,000    | 785,410    |          |
| 会 総 会 費       | 300,000    | 387,540    |          |
| 集 金 費         | 340,000    | 327,000    |          |
| 消 耗 費         | 160,000    | 160,220    |          |
| 旅 費           | 400,000    | 407,880    |          |
| 懇 話 会 補 助 費   | 300,000    | 257,200    |          |
| 支 部 交 付 金     | 250,000    | 250,000    |          |
| 事 務 人 件 費     | 2,709,000  | 0          | 資料 4-1参照 |
| 雑 費           | 720,000    | 720,000    |          |
| 予 備 費         | 21,000     | 21,530     |          |
| 支 出 小 計       | 8,360,000  | 10,749,806 |          |
| 次年度繰越金        | 9,582,047  | 9,582,047  |          |
| 合 計           | 17,942,047 | 20,331,853 |          |

預金及び現金  
昭和63年3月31日現在

|      |           |           |         |
|------|-----------|-----------|---------|
| 信託預金 | 1,000,000 | 普通預金      | 482,743 |
| 定期預金 | 6,900,000 | 郵便振替      | 17,800  |
| 定額預金 | 1,000,000 | 現 金       | 181,264 |
| 当座預金 | 240       |           |         |
| 合 計  |           | 9,582,047 |         |

昭和63年度各支部交付金

| 支 部 名 | 交 付 金 額   | 支 部 名 | 交 付 金 額   |
|-------|-----------|-------|-----------|
| 北 海 道 | 4,700     | 関 西   | 927,800   |
| 東 北   | 12,200    | 中 国   | 245,000   |
| 東 京   | 1,140,100 | 四 国   | 135,500   |
| 中 部   | 92,300    | 九 州   | 100,700   |
| 北 陸   | 50,700    | 計     | 2,709,000 |

L Dの両氏が来日の際に持参されたものである。

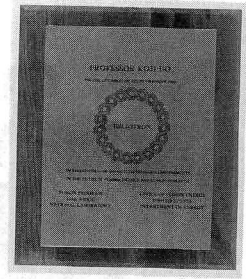
(DOEとはDEPARTMEN T OF ENERGYの略でエネルギー省のこと)(ORN LとはOAK RIDGE N A TIONAL LABORAT ORYの略である。)

又、宇尾教授は昭和27年京都大学電気工学科を卒業後、結合振動の研究にはじまり、高次代数方程式の簡易解法、同軸積層および織芯ケーブルの伝送特性の研究を経て、当時、湯川秀樹教授の下で組織されて、全学的な核融合研究グループに参加し、高温プラズマ閉じ込め用として、独自のヘリオトロン磁場で創案されてから、林重憲教授の下でヘリオトロンAを建設して以来30年の歳月をヘリオトロン装置の開発に努め、世界の核融合

研究史上に大いなき足跡を残されたことは前掲の表彰盾でも明らかとなりである。

退官後も、宇尾教授は人類の未来のエネルギー源である核融合を推進されるための核融合開発センターを開設される予定である。

斯くのごとく、宇尾教授は人類の未来の為にヘリオトロンに情熱を捧げて来られ、又、今後とも情熱を捧げつづけられるであろう。先生の健康と尚、限りない前進を望んでやみません。



### 昭和63年度 関西支部

#### 家族旅行会 (予告)

例年の関西支部家族旅行見学会は、次のように計画しています。9月中旬に案内状を送付しますので、奮ってご参加下さい。

#### 記

- 一、期日 昭和63年11月3日(肉文化の日)
- 一、行先 瀬戸大橋見学と余島フィッシャーマンズワーフ (水中翼船保山、瀬戸内海船旅です)
- 一、集合場所 大阪港天保山 八時一五分
- 一、費用 神戸港中突堤 九時〇分
- 一、費用 大人 五、〇〇〇円
- 一、費用 小人 三、〇〇〇円
- 一、定員 二〇〇人

以上

#### 昭和62年度名簿広告募集状況

(単位：円)

| 支部名  | 件数  | 総額        | 本部収入額     | 支部収入額     |
|------|-----|-----------|-----------|-----------|
| 東 京  | 99  | 4,670,000 | 1,868,000 | 2,802,000 |
| 関 西  | 49  | 2,220,000 | 960,000   | 1,260,000 |
| 中 国  | 21  | 960,000   | 330,000   | 630,000   |
| 四 国  | 8   | 340,000   | 20,000    | 320,000   |
| 九 州  | 4   | 180,000   | 0         | 180,000   |
| 北 陸  | 2   | 80,000    | 0         | 80,000    |
| 計    | 183 | 8,450,000 | 3,178,000 | 5,272,000 |
| 60年度 | 200 | 7,150,000 | 2,659,000 | 4,491,000 |

### 昭和63年度

#### 洛友会総会

昭和63年度総会は、去る6月11日(日)ホテル京阪京都において75名参集のもとに午後3時より行われた。

今年の総会開催地が地元ではあったが松田会長はお元気であります。が年齢を考慮してご静養とのこと。で欠席されたのが残念であった。近藤常任幹事も大阪電気通信大学学長就任ご多忙のため欠席で大谷副会長が会長と常任幹事とを兼ね

#### 昭和63年度新年挨拶広告募集状況

(単位：円)

| 支部名  | 件数 | 総額      | 本部収入額   | 支部収入額   |
|------|----|---------|---------|---------|
| 関 西  | 11 | 110,000 | 55,000  | 55,000  |
| 四 本  | 3  | 30,000  | 0       | 30,000  |
| 部    | 3  | 30,000  | 30,000  | 0       |
| 計    | 17 | 170,000 | 85,000  | 85,000  |
| 62年度 | 21 | 210,000 | 100,000 | 110,000 |

### 洛友会

#### 役員変更について

昭和63・64年用名簿に記載されており洛友会役員中、左記の通り6月11日の本部総会において退任及び新任が承認されました。

#### 記

電気系教室高木俊宜教授(現副会長)の定年退官並びに本年度教室主任の交替に伴い、教室選出の役員を次の通り変更する。

#### 1、副会長

昭22高木俊宜(退任・教室)

昭22池上文夫(新任・教室)

#### 2、幹事

昭22池上文夫(退任・教室)

昭41藤田茂夫(退任・教室)

昭28板谷良平(新任・教室)

昭41荒木光彦(新任・教室)

なお池上教授の副会長昇格に伴い、後任の常任幹事は川端幹事が就任する。

### 洛友会関西支部総会及び本部総会の報告

洛友会関西支部総会および本部総会は、去る6月11日京都駅八条出口前、アパソテイルのホテル京阪京都三階の会場で行われた。75名の会員が出席し、本部からは、大谷・上西・越坂副会長、池上・竹村常任幹事が参加された。

まつ支部総会では、大嶋幸一副支部長が挨拶され、家族旅行会はじめ、昨年の諸行事がともに多数会員の参加を得、盛会であったこと、又会員名簿の発行に際して幹事会員および賛助会員各社に大変お世話になったことについて御礼の言葉があった。そして本年も家族旅行で、瀬戸大橋見学の船旅を予定しているなど、充実した企画で会員相互の親睦と連繋の強化を推進したいと述べられた。



幹事により説明され、夫々拍手でもって了承された。

次に本部総会では、大谷副会長の挨拶で、松田会長先生の近況と共に、本部の事業活動についても報告され、竹村常任幹事の62年度決算報告、63年度予算説明を併せて、万場一致了承された。

又、その後、高木教授の停年退官により副会長辞任に伴う役員変更人事について説明があり、池上常任幹事の副会長就任などが了承された。恒例の教室現況報告は、池上副会長から電気工学教室改築工事の進捗状況と、卒業生の就職状況などについて説明があったが、象徴的に残される赤レンガの玄関が、鉄アングルのケースに入れられて、工事現場の傍に保管されて



おり、又玄関前の大銀杏も根巻きして置かれていることなどの紹介があった。

総会終了後は、16時半から二階のパーティ会場に席を移し、大谷副会長の挨拶のあと、遠来の先輩、田中卓次氏の発声で乾杯し、懇親会に入った。懇親会では松田会長先生作詩作曲の「洛友会の歌」を皆で合唱し、又杯を合わせ乍らの交情に、話題もはづみ、卒業年次を越えての友好の場となった。

### 第33回洛友会

### 四国支部総会報告

5月20日(金)、高松市内の旅館「新常盤」において第33回洛友会四国支部総会が開催された。本部から大谷名誉教授、岡田教授の御出席をいただき、支部からは35名の会員が集まった。

総会は大谷先生のユーモアを交えた挨拶に始まり、岡田先生からの電気教室近況のお話の後、会務会計報告、予算案審議を行い無事終了した。引き続き懇親会に入り、先生方との歓談や久しぶりに顔を合わせた先輩方や友人と酒を酌み交わしながらの談笑など、楽しいひとときを過ごした。

翌日、大谷、岡田両先生は、この4月10日に開通した瀬戸大橋の遊覧船での観光と四国側博覧会場の視察を行われた。支部より中川

藤原、今岡、藤川の4名がお伴をした。

遊覧船は、元の本州四国連絡船「讃岐丸」を観光用に改造したもので、高松港を出航後、本州側に近い下津井瀬戸大橋から四国側の南備讃瀬戸大橋まで、橋を真近に眺めながら、坂田番ノ州に向う船路である。

船が下津井瀬戸大橋の下を通過する時には、全員がデッキに出て橋を見上げながら、その壮大さにあらためて感嘆した。

その後、博覧会場に向い、テーマ館、四国電力館、NTT館等を見学した。



第33回洛友会四国支部総会 昭和63年5月20日 於 新常盤

薄曇りで、ややむし暑いにもかかわらず、両先生とも精力的に見学された後、車で橋を渡られ、元気に帰京された。

(昭54年卒藤川記)





### 第28回 十四日会の記

#### 大正14年、15年合同

昭和63年5月17日、JR名古屋駅に集合、後名鉄特急電車で犬山行く。犬山ホテルで昼食後、ホテルのバスで明治村博物館行く。

館内ではSL列車で旧帝国ホテル玄関建物附近を、又元京都市電で品川燈台附近を各々自由見学、約二時間後タクシーで犬山ホテル前の有楽苑に入り、お庭拝見と国宝如庵を見学する。如庵は織田信長の実弟有楽斎の建てた茶室で、昭和11年に国宝に指定されている。京都建仁寺にあったもので、三井家の所有となり、其後名鉄が買い受け、大磯の別庭より移築したものである。

夜は犬山ホテルで懇親宿泊。翌18日朝は各自木曾川岸を散歩する者、犬山城を見学する者等自由行動で、10時貸切バスでリトルワールドに行く。

123万平方米の丘陵地に、世界各地より集めた民族資料を展示した本館と、世界各地の住居をそのまま、移築復元して展示した野外民族建築物とである。

午前中は本館内の説明を受け、館内で昼食後野外建築物を見学した。

本年は開館満五周年に当たるので、種々の特別企画が行われている。



た。丁度野外ホールでペルー(南米)のファミリーロドリゲス兄弟による音楽が演奏されていた。野外見学は徒歩又は場内設備の小型乗合電気バスを利用し、外部よりの入車は禁止されていたが我等全員80歳以上の老人連の為、特に外部より貸切バスの入場を認められた。

午後約二時間の見学後犬山駅より名鉄特別電車八八〇〇形パノラマDX号で名古屋駅に出て解散した。参加者未亡人共14名(男六、女八)年々減少する事は止むを得ないとは云へ淋しい事である。特に度々お世話になったビール王富永君は無く、例のユーモアの話が聞けないのが淋しい。又十四日会創設の常連小宮君が、体調を崩し欠席され、例の其の地に関する歴史

史的講話の聞けなかったのが残念であった。

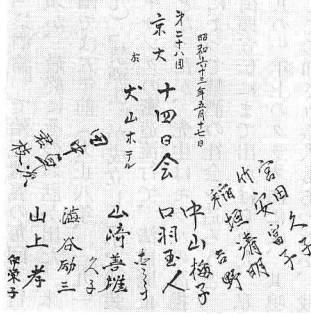
来年度も小人数でも集りだけでも続け度いとの希望あり、又京都で保津川下りでもとて口羽君に引受けて頂いた。皆々健康に注意し再会を期し度い。

今年度の見学の施設は全部名鉄関係であるので、中部洛友会幹事の石川進君(26年卒名鉄勤務)に相談した所、名鉄メルサセンターの所長代理筑間明男氏を照介して頂き、氏に添乗して案内頂いたので万事スムーズに実行され、一同海外小旅行した思いで大満足で別れた。ここに更めて本紙を借り石川君に厚く御礼申し上げます。(田中記)

### 昭十会例会開催

私共昭和10年卒業生は去る5月23・24日の両日例会を開催。

初日は天下の霊場、新緑の高野山に参集、日本の古き歴史を偲び



暫し靈氣に漬り下山。山麓の紀の川苑にて一泊大いに談笑、旧交を温め更に翌日は観光とゴルフに分れ夫々一年振りの再会を満喫した。

因に本年は同期生存者(63年5月現在) 31名中13名の出席であった。



昭和十年卒業生同窓会 S63.5.23 於橋本市紀の川苑

### 共振会(昭16・3卒)

#### 春季旅行会報告

昭和60年浜松大会にて1.5年毎に旅行会、3年毎に大会を開催すると決議した通り、61年秋北陸方面旅行(関西担当)に続いて63年春、伊勢・志摩方面の旅行を関東地区担当で開催した。始め同行予定の角田氏が二月に、阪本氏が三月に

亡くなられたことは甚だ残念である。ご両名の冥福を心からお祈りする。今回の参加者は会員20名、ご夫人7名で計27名。

昭63・5・18 PM 1時近鉄宇治山田駅に集合、バスにて伊勢神宮内宮に参拝。五十鈴川の清流に身を清め拜殿に上る。神前にて家内安全、無病息災の願いをこめて荘厳な雰囲気の内約30分霊験あらたかな祝詞を奏上、お神楽を舞って頂く。

次にバスで伊勢志摩スカイラインの景観を楽しみつつ朝熊山金剛証寺に着く。此所は弘法大師が開祖で禅宗により再興された臨済宗の名刹で、立派な庭園を拝観してのち、両側に高さ10米余の塔婆が何百本と林立する奥の院参道を迎る。塔婆は一基何百万円もする由、御木本幸吉翁、石原裕次郎の塔婆も散見した。やがて山腹に躑躅が一面に咲き誇る朝熊山展望台に上り、好天に恵まれ伊勢湾の絶景の眺望を満喫した。朝熊山観光を終え宿舎鯛池ホテルに17時頃到着。部屋割、少憩の後入浴、18時半開宴先づ会長より角田・阪本両氏のご逝去の報告、弔慰金値上の議を全員一致で可決、続いて関東・関西幹事より会計報告・行事報告あり。纏て伊勢湾の新鮮な魚貝類の珍珠満載の食膳が運ばれ、宴が始まる。会員の歌等の披露あり盛会裡に21時頃一先づ解散し二次会は



# 中国雑誌 (6)

昭和二十三年卒  
陶坊資

## 規格トイレ

日本人が中国へ旅行をして名所旧蹟を巡れば、往々にして公衆トイレに入る必要を生じる。入って、たまげてとび出し、「とてもあんな所では出来ない」と言い出す人が案外多い。特に御婦人に多い様である。これら公衆トイレの大部分は、中国解放後作られたもので、夫々多少の違いはあっても、大同小異で、標準設計の規格品である。先ず男女は当然分かれる。但し向って右左のどちらが男性でどちらが女性かは、別に統一がとれていないので、入る時に注意を要する。トイレの建物は、一般に長方形で、真中(又は片側)に半メートル位の幅の通路があり、その両側(又は片側)が一寸高くなっていて、そこにいくつかの穴(一般には長方形)が並んでいる。穴が連なって溝になっている所もある。その穴(溝)に、通路側を向いて(溝の場合は、通路を横に見て)横(縦)に並んで用を足す訳である。隣(前後)の人との間には、しきり(高さ一メートル位)がある場合もある。個々の扉なんて

のではない。故に用を足し乍ら、隣人と日常茶飯事について、駄辯(だべん)事となる。又通路をへだてて、向側でこちらを向いてしゃがんでいる者の一物を眺め乍ら、その当人とおしゃべりする事も出来る。勿論「金かくし」如きものはない。すべて極めて大らか且つ開放的である。

トイレに於ける雑談は、井戸端会議に相当する。大体中国では公式ニュースと言えば、政府発表の固い声明文か宣伝文の如き建前だけのものしかないのが、一般大衆は、三面記事に相当するニュースに皆飢えている。故に所謂「ロコミ」は驚く程発達しており、汽車の中や待合室等は勿論の事、少しでも人が集まる所は、その情報交換の場となる。トイレも勿論同様に、急ぐ事がなければ、ゆっくりとした情報交換の絶好の場となるのだ。会社や工場のトイレも、殆どがこの形式である。慣れてしまえば、広々とした所の方がずっと気持ちよい。日本の様に、元々狭い所を更に小さく区切って、その狭い密室に一人だけうずくまり、ヒソヒソと用を足すよりは、よほどのどこかでスッキリする。

大体中国人は、トイレでも大衆風呂でも、前をかくしたりする習慣はなく、極めて堂々としている。下手にかくしたりすると、何かお

かしいから隠すのであろうという事になり、やじ馬に一齐に押しかけられる。堂々と開帳すれば、「なんや、俺らとちつとも変らねえや」という事で散ってしまふ。そういうえば欧美人も前を隠さない。プール等の更衣室でも、西洋人は実に堂々と着換えているのに、日本人は小中学生でも、タオル何かを使って、可愛(かわい)い一物を必死にかばい乍ら、隅っこでコソコソと苦労して更衣している。日本人は秘処という觀念が強いのかも知れない。公衆トイレは、しゃがむのが普通であるが、南方には腰かけのものもある。即ち真中に通路があるのは同様だが、幅が広く一メートル位ある。そしてその両側の台は少々高く木製であり、その上に丸い穴が並んでいる。何の事はない、長い板製ベンチに、穴がいくつか並んでいるのだ。通路に足を残したまま、穴の上にお尻を載せて、板の上に並んで腰かければよいのだ。勿論隣との仕切り板など無い。しかもちゃんと蓋がついているのもあり、蝶番もついているので、そのまま背もたれにもなる。勢い隣人と早速雑談にふける事となる。但し北方と異なり、お互の一物は見えない。国家規格はしゃがむ方式であるので、この様な腰かけ式は、標準設計の一種の変形なのであろう。昔、日本アルプス

の山中で、横倒しになった巨木の上に並んで、駄辯(だべん)に乍らよく野糞(のふん)を垂れたが、皎々と輝く月光に、友(勿論男性)の尻が目にしみる程白かった事を思い出す。日本でも、人跡未踏の深山幽谷へ入ると、皆大らかになって、別に隠すべき秘処等というものは、なくなってしまうのかも知れない。しかし、日本人には、秘処を露出し、他人に見られると思うと、出るべきものも出なくなってしまう者が案外多いらしく、大分あちこちで悲鳴をあげた様で、遂に中国の当局のお耳にまで届いたと見えて、最近の名勝地には外人専用のトイレが出来始めた。そうなるに密室の秘処扱いとなつて、却つて情緒がなくなつてしまった。

これらの規格トイレは、原則的には水洗であり、間歇的に溜まったものを一挙に流し去るのが普通であるが、条件不足の場所では、汲取り方式もある。偏僻な田舎へ行くと、蛆の数もぐつと増え、足下からゾロゾロ這い上がって来るものもある。大体中国では、何でも規格は立派だが、本物は規格通りになつていないものが非常に多い。公衆トイレもその例に洩れず、大筋では同様でも、その所、その時によつて様々な変形が存在するし、夫々の差も極めて大きいのである。(以下次号)

## 会員住所変更一覽表

昭和63年5月31日現在  
(表中略敬称)

前号(昭和63年4月号)に題記発表後5月31日までに次の会員の住所変更のご連絡がありましたので掲載致します。これ以後の分は、次号掲載とさせていただきます。あしからずご了承ください。

表中、卒業年次の数字は、前月号の一覧表中の表示と同一ですので省略致します。

| 卒業年  | 氏名   | 住所                | ☎      | 電話           |
|------|------|-------------------|--------|--------------|
| 大148 | 舌益太郎 | 春日井市東野町西2-19-9    | 486    |              |
| 昭050 | 田中裕  | 草津市平井4-5-6 (表示変更) | 525    | 0775-63-4725 |
| 〃060 | 宇野茂道 | 仙台市寺岡4-18-4       | 981-32 | 022-378-7977 |

| 卒業年   | 氏名     | 住 所                             | 電 話                 |
|-------|--------|---------------------------------|---------------------|
| 昭090  | 小原 誠   | 大津市田上黒津町200-6                   | 520-22 0775-46-1511 |
| " 128 | 小喜田 忠男 | 兵庫県三原郡三原町市市634                  | 656-04 0799-42-0019 |
| " 164 | 桧垣 登   | 茅ヶ崎市菱沼1-3-47                    | 253 0467-52-3314    |
| " 170 | 竹島 正巳  | 町田市本町田6450-181                  | 194 0427-24-6729    |
| " 180 | 小田 敏巳  | 東京都豊島区東池袋2-1-13 第5酒井ビル302号      | 170 03-590-0363     |
| " 200 | 上田 敏行  | 下関市清末町鞍馬2-19 (表示変更)             | 750-11 0832-83-1861 |
| " 200 | 老田 他四郎 | 東京都新宿区住吉町11-23 (表示変更)           | 162 03-358-6189     |
| " 200 | 川北 良正  | 廿日市市串戸3-15-27                   | 738 0829-32-3522    |
| " 200 | 邊保 良二  | 宮崎県北諸県郡山之口町大字山之口4162            | 889-18 0986-57-4470 |
| " 210 | 藤本 一夫  | 高槻市日吉台5-3-15                    | 569 0726-88-6063    |
| " 220 | 小杉 昇   | 奈良市朱雀2-8-22                     | 631 0742-71-3860    |
| " 230 | 服部 周三  | 豊中市岡町南2-15-27 豊中ガーデンズコート217     | 560 06-845-2460     |
| " 250 | 原 豊    | 奈良市東登美ヶ丘4-18-16 (表示変更)          | 631 0742-44-5808    |
| " 250 | 萩原 宏   | 京都市左京区松ヶ崎呼返町24                  | 606 075-701-4770    |
| " 270 | 鈴木 郁   | 大分市岩田町1-12-1 三和コーポ305           | 870 0975-53-0643    |
| " 270 | 龍澤 善一  | 熊本市西原2-3-2                      | 862 096-383-8595    |
| " 286 | 小刀 晃   | 広島市安芸区矢野西5-14-40                | 736 082-888-0422    |
| " 300 | 小安 藤孝  | 仙台市旭丘堤2-11-14                   | 983 022-272-1501    |
| " 300 | 木村 磐根  | 京都市左京区田中春菜町26-2                 | 606 075-791-0480    |
| " 300 | 木葉 耕平  | 京都府相楽郡木津町兜町2-1                  | 619-02 07747-2-1331 |
| " 310 | 飯尾 博一  | 東京都中野区沼袋4-17-6                  | 165 03-387-7871     |
| " 310 | 辻垣 淳一  | 東京都杉並区清水1-28-6                  | 167 03-395-1570     |
| " 310 | 吉田 勲   | 神奈川県中郡大磯町大磯2224-1               | 255 0463-61-6923    |
| " 321 | 森 偉之輔  | 佐世保市白木町24 合同宿舎3-11              | 857 0956-25-5537    |
| " 312 | 田村 勝宣  | 横浜市栄区亀井町17-17                   | 247 045-892-6788    |
| " 320 | 長村 有孝  | 横浜市神奈川区片倉1-17-17-404            | 221 045-481-8012    |
| " 320 | 木村 光男  | 広島市西区庚午中2-6-7                   | 733 082-273-5592    |
| " 320 | 桜田 武賢  | 名古屋市東区徳川町1112                   | 461 052-936-3873    |
| " 320 | 三好 一   | 横浜市保土ヶ谷区初音ヶ丘165                 | 240 045-335-4115    |
| " 320 | 山本 彬夫  | 川崎市麻生区王禅寺663-117                | 215 044-955-4453    |
| " 331 | 大岡 西村  | 春日部市粕壁4452-5 アーバンハイッ春日部503      | 344 0487-61-7011    |
| " 341 | 中村 和宗  | 横浜市栄区飯島町1398-39                 | 244 045-893-0357    |
| " 341 | 中村 明泰  | 市川市福栄4-33-12 朝日新聞行徳寮            | 272-01 0473-97-7171 |
| " 341 | 吉川 忍之  | 奈良県北葛城郡当麻町加守545-3               | 639-02 07457-6-7263 |
| " 342 | 黒見 尚伸  | 町田市金井町2882-56                   | 194-01 0427-35-0917 |
| " 351 | 辻野 浩力  | 国立市西1-17-30 ガーデン第2国立301号        | 186 0425-75-1500    |
| " 351 | 星野 護   | つくば市並木3-629                     | 305 0298-52-3345    |
| " 351 | 森 健吾   | 亀岡市西つづじヶ丘霧島台2-9-3               | 621 07712-3-1394    |
| " 361 | 大 健    | 京都市西京区大枝北福西町4-1-1               | 610-11 075-331-1524 |
| " 361 | 神原 貞夫  | 国立市中町1-17-12 サミオーネ国立3号          | 186 0425-76-0248    |
| " 361 | 塩月 安朗  | 横浜市栄区上郷町2212-29                 | 247 045-893-2233    |
| " 362 | 石黒 武彦  | 京都市伏見区桃山町泰長老<br>桃山東合同宿舎741号     | 612 075-621-6173    |
| " 372 | 竹居 敏夫  | 横浜市栄区上郷町2231-86                 | 247 045-893-9520    |
| " 382 | 加藤 昭男  | 小平市学園東町2-8-30                   | 187 0423-45-8374    |
| " 382 | 上藤 武久  | 倉敷市鶴の浦1-3-10 若樹寮A216号           | 712 0864-44-9200    |
| " 391 | 加藤 久   | 藤沢市藤沢7-1-8 (表示変更)               | 251 0466-81-8572    |
| " 391 | 川野 家稔  | 横浜市港北区師岡町1160-12-402            | 222 045-531-9564    |
| " 391 | 篠原 進   | 松山市岩崎町1-3-20                    | 790 0899-43-1416    |
| " 391 | 三木 将男  | 横浜市保土ヶ谷区狩場町26-1<br>コープ保土ヶ谷C-217 | 240 045-731-8242    |
| " 392 | 相内 和弘  | 君津市久留里市場350-A302                | 292-05 0439-27-3758 |
| " 401 | 西藤 規雄  | 千歳市里美5-8-1                      | 066 0123-28-3779    |
| " 401 | 内野 勲   | 横浜市保土ヶ谷区岩井町1-5-216              | 240 045-334-1955    |
| " 402 | 松尾 益次郎 | 市川市塩浜4-2 ハイタウン塩浜52-404          | 272-01 0473-97-6210 |
| " 403 | 上塚 克己  | 高槻市玉川3-30-1                     | 569 0726-77-8625    |
| " 411 | 江上 貞善  | 横浜市泉区中田町2405-11                 | 244 045-802-3460    |
| " 411 | 大白 井範  | 山口市中央4-8-4 中電山口中央寮511号          | 735 0839-22-9658    |
| " 411 | 杉山 晋   | 東海市中ノ池6-9-4                     | 477 0562-32-6420    |
| " 411 | 杉山 俊夫  | 柏市加賀2-15-8                      | 277                 |
| " 413 | 市田 健成  | 枚方市楠葉丘2-6-16                    | 570 0720-55-3075    |
| " 413 | 織田 莞二  | 浦和市針ヶ谷4-7-33-2-104              | 338 0488-24-3509    |
| " 413 | 福井 敏明  | 山口市中央5-12-13                    | 753 0839-21-1876    |
| " 413 | 松井 捨和  | 京都市西京区大枝北杏掛町5-24-3              | 610-11 075-331-8860 |
| " 421 | 川崎 洋吾  | 北九州市小倉北区田町13-10                 | 803 093-581-9489    |
| " 423 | 田中 義一  | 彦根市立花町4-8 (留守宅)                 | 520 0749-22-8418    |
| " 431 | 元木 明泰  | 高松市桜町1-9-32 JR アパート301          | 760 0878-31-2046    |
| " 432 | 南 孝    | 大分市明野南1-19-215-25               | 870-01 0975-58-9322 |



| 卒業年   | 氏名    | 住所                                 | 番      | 電話           |
|-------|-------|------------------------------------|--------|--------------|
| 昭433  | 天野隆喜  | 日立市日高町3-22-19                      | 319-14 | 0294-42-2761 |
| " 433 | 垣花克彦  | 市原市山田橋757-1                        | 290    | 0426-23-7001 |
| " 441 | 一宮寛   | 藤沢市鶴沼東2-2-304                      | 251    | 0466-27-1465 |
| " 441 | 大澤靖治  | つくば市並木2-211-302 (表示変更)             | 305    | 0298-58-0834 |
| " 441 | 龍田峯夫  | 奈良市二名町松陽台3-1825-65                 | 631    | 0742-48-2289 |
| " 441 | 小大鹿丈  | 岐阜市黒野244-1 エステイト多賀301号             | 501-11 | 0582-34-1379 |
| " 442 | 小枝秀俊  | つくば市梅園2-21-4                       | 305    | 0298-51-8985 |
| " 442 | 堀忠市   | 西宮市松並町1-26-202                     | 663    | 0798-65-2764 |
| " 443 | 小福林郁  | 清水市桜橋町6-10 中電アパート202号              | 424    | 0543-66-4797 |
| " 443 | 森代孝   | 京都府相楽郡木津町兜台2-1 エスタ高の原6-508         | 619-02 | 07747-2-6915 |
| " 443 | 藤代信彦  | 高槻市神内2-9-1 ホサナ教会内                  | 569    | 0726-83-3112 |
| " 443 | 山本一彦  | 千葉市小中台町567 稲毛スカイタウン1-1305          | 281    | 0472-56-3618 |
| " 451 | 岡崎健二  | 横浜市緑区竹山1-3-1304-444                | 226    | 045-931-7837 |
| " 451 | 児玉克也  | 横浜市栄区笠間町1555-1-G-515               | 247    | 045-892-0772 |
| " 452 | 大森乾司  | 広島市佐伯区五日市町倉重98-4                   | 731-51 | 0829-22-8378 |
| " 471 | 浦上康雄  | 福井県坂井郡三国町緑ヶ丘4-8-11-6               | 913    | 0776-82-2372 |
| " 471 | 戎野和夫  | 横須賀市津久井510-7-6-404                 | 239    | 0468-49-8032 |
| " 472 | 大田好幸  | つくば市並木2-210-205                    | 305    | 0298-51-6034 |
| " 472 | 大三好夫  | 東京都新宿区西落合2-19-11 KDD 社宅204号        | 161    | 03-565-4630  |
| " 473 | 伊奈奈   | 市川市東国分2-1-8-205                    | 272    | 0473-72-6931 |
| " 483 | 外村善嗣  | 京都市伏見区桃山毛利長門東町34-37<br>外村善一方 (留守宅) | 612    |              |
| " 492 | 内藤裕志  | 名古屋市名東区梅森坂5-208<br>エクレール梅森坂3095    | 465    | 052-805-0362 |
| " 492 | 冬木隆   | 宇治市羽戸山3-1-51                       | 611    | 0774-32-8519 |
| " 493 | 那須修二  | 姫路市八代東光寺町16-14                     | 672    | 0792-88-5669 |
| " 501 | 林悦男   | 柏原市上市4-2-1-403                     | 582    | 0729-71-0559 |
| " 502 | 垣本直人  | 大津市柳木町1565-B35-14                  | 520-02 | 0775-73-7365 |
| " 502 | 鹿川直人  | 鎌倉市上町屋815-15 富士塚アパート4-307          | 247    | 0467-47-3597 |
| " 502 | 津田直和  | 柏市中十余二194-2 柏葉公園団地3-9              | 277    | 0471-32-5624 |
| " 502 | 津田敏隆  | 大津市御陵町1-36 別所合同宿舎823               | 520    | 0775-25-2098 |
| " 502 | 山本俊郎  | 宝塚市逆瀬台1-11-4-410                   | 665    | 0797-74-3820 |
| " 503 | 椿一憲   | 宇都宮市東今泉2-5-5 ソフィアB205号             | 321    | 0286-60-0714 |
| " 511 | 小沢富士男 | 静岡県駿東郡清水町徳倉941-1<br>ミナミハイツ101号     | 411    | 0559-34-1527 |
| " 511 | 大内啓三  | 高砂市西畑1-14-19                       | 676    | 0794-43-6227 |
| " 511 | 佐伯正美  | つくば市並木2-120-203                    | 305    | 0298-51-0353 |
| " 511 | 吉田徹   | 東京都世田谷区船橋3-8-15<br>中電千歳船橋アパート102   | 156    | 03-428-3195  |
| " 512 | 児玉充晴  | 市川市新井1-24-4-209                    | 272-01 | 0473-57-9757 |
| " 512 | 谷岡敏彦  | 堺市向陵西町4-8-7 向陵西町住宅705号             | 590    | 0722-22-1418 |
| " 513 | 佐藤亨   | 京都市左京区浄土寺馬場町38-1<br>レジデンス浄土寺403    | 606    | 075-752-0874 |
| " 513 | 豊田豊   | 横浜市港南区日野町3666 コスモ港南日野406号          | 233    | 045-843-8290 |
| " 513 | 広田保彦  | 飯塚市大字伊岐須1-4 九工大公務員宿舎2-405          | 820    | 0948-29-0917 |
| " 522 | 浅田保   | 大津市野郷原1-5-24-301                   | 520-21 | 0775-43-5018 |
| " 522 | 大石長護  | 平塚市黒部丘8-17-405                     | 254    | 0463-33-2216 |
| " 522 | 中山英一  | 昭島市つつじが丘3-5-6-913                  | 196    | 0425-44-6423 |
| " 522 | 山尾泰誠  | 横須賀市津久井510-7-5-101                 | 239    | 0468-49-6185 |
| " 523 | 寛井義弘  | 草加市長栄町73-5                         | 340    | 0489-41-6673 |
| " 523 | 土井泰弘  | 大阪市天王寺区伶人町3-7                      | 543    | 06-772-9738  |
| " 531 | 金守正徳  | 東京都練馬区立野町14-26-502号                | 177    | 03-929-5862  |
| " 532 | 梅比良正徳 | 横浜市磯子区杉田9-2-7-203                  | 235    | 045-774-6941 |
| " 532 | 藤井謙一  | 神戸市東灘区向洋町中5-1-522-814              | 658    | 078-857-2115 |
| " 532 | 松田敏弘  | 高崎市巾着町1-3-5 銀星ハイツB-301             | 370    | 0273-52-9727 |
| " 532 | 小森伸一  | 相模原市宮下本町1-33-36                    | 229    | 0427-53-3769 |
| " 533 | 小笠川満  | 三島市徳倉740-20                        | 411    | 0559-88-2468 |
| " 541 | 伊丹敏   | 伊勢原市板戸912-4 レヂデンス関台201号            | 259-11 | 0463-94-3848 |
| " 541 | 桑村和男  | 桑名市大字東方454 第2富士コーポ253号             | 511    |              |
| " 541 | 佐々木朗  | 横浜市栄区笠間819-1 ライブタウン大船3-301         | 247    |              |
| " 541 | 田代勉   | 東京都江東区木場6-6-G206                   | 135    | 03-645-6032  |
| " 541 | 平地克也  | 高槻市安岡寺町5-55-16                     | 569    | 0726-89-9313 |
| " 541 | 山川武史  | 八幡市八幡福祿谷146-27 山村啓治方 (留守宅)         | 614    | 075-981-1772 |
| " 542 | 山口久   | 明石市二見町西二見157-59                    | 674    | 078-941-1758 |
| " 543 | 十倉啓輔  | 箕面市桜ヶ丘1-1-17-I-5                   | 562    | 0727-24-5560 |
| " 551 | 川畑亮   | 豊田市伊保町向山66-97                      | 470-03 | 0565-45-4858 |
| " 551 | 高島信   | 横浜市緑区藤が丘2-36-65-405                | 227    | 045-972-3967 |
| " 551 | 藤原彰   | 神戸市垂水区多聞町小東山868-293                | 655    | 078-783-4135 |
| " 551 | 松野清隆  | (連絡先) 大阪市生野区林寺2-8-5 松野善衛方          | 544    | 06-712-6498  |

